

ニュース さよなら原発 第55号 2017. 6. 11 発行



さよなら原発ひたちなか市実行委員会

連絡先：ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤 英一 TEL:029-273-4775

ホームページ： <http://sayonaragenppatu.wixsite.com/mysite>

原電社長、**東海第二原発** 運転延長を「申請したい」と発言 (5/25)

日本原電の村松衛社長は5月25日、東海第二原発の運転延長を申請したいと本音を語りました。8月28日から国への申請が可能になるので、現在、申請に必要な原発の特別点検を実施中です。

“原発施設の新增設には市・村長の事前了解を”との東海村長と周辺5市長の要求も拒否し(口出しさせないで)、運転延長へむかっています。

運転延長をとめる(=廃炉)ため、次の要領で署名を集めています。ご協力をお願いします。

◆ 署名は、2種類です。

①東海第二の20年運転延長反対 (=廃炉にしてください)

②安全協定の権限拡大要求 (=周辺の5市長にも、再稼働の是非の判断権を持たせて下さい)

◆ 署名用紙は 標記の本会ホームページから印刷できます。

(連絡いただければ用紙を届けます。)

◆ 署名は7月末までに標記の連絡先(佐藤英一)にお届けください。

(ご連絡いただければ受け取りに伺います。)

◆ 署名の原本は東海村長に提出し、それ以外には筆数を届けます。

古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！
◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。
子どもたちに、安全な未来を
◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。

茨城に 「東海第二廃止の知事」 が誕生してほしいわ



新潟県民が原発反対知事を選んだので、柏崎刈羽原発(東電)は立ち往生です。

沖縄県民は基地反対で筋を通す知事を選び、沖縄の平和を取り戻そうとしています。

福島県では知事も県議会も原発反対で、福島第二原発(東電)は動く気配さえありません。

茨城も見習いたいですわ。

東海第二「再稼働反対」が圧倒的多数

(H29.5.14 海浜公園西でシール投票)



ひたちなか市の 東海第二原発への 声 声 声

皆さんの 声・つがや
お寄せ下さい。
TEL/FAX: 029-273-4775

「原研大洗の被ばく事故」 が教えること

男性「福島原発事故では『メルトダウン』だったが、原研大洗の事故は『ネルとダウン』というんだよ！」

会員「そうですね。うまく言ったもんですね！」

男性「今回の事故は26年間も放置されたまま、誰からも忘れ去られてしまっていて起きたのだろう。人も入れ替わってしまっていて適切な情報が薄れてしまっていた結果さ。」

会員「研究所がこう事故を起こし続けるようでは、これから廃止する原子力施設の安全管理が大変だということですね。原発の使用済み燃料に至っては何万年も管理しなければならない。由々しきことですね。」

男性「そう、現実には避けて通れないわけだから、もうこれ以上、危険なものを発生させないことが重要になるのさ。」

会員「原発は動かしてはだめ、ですか!？」

男性「そういうこと。」

市内・70代男性と来客男性

会員「今日は署名のお願いに来ました。東海第二の20年延長運転反対と東海村周辺首長を励ます安全協定拡大の署名です。友人や家族から集めてほしいんですが・・・」

来客男性「あ、いつもニュース配ってくれてる人かい！俺にも署名用紙くれっけ、集めるから。原発に事故起こされた日にゃ、農家はたまったもんじゃねえ！」

主人男性「そうだ、本当だ。うちもいいよ、置いてきな」

会員「じゃ、連絡先の名刺作って来たので置いて行きます。宜しくお願いします。ところで、そちらの方の家は？」

来客男性「ああ、政党のポスター掛けてあつこだ。」

会員「ああ、あそこですか、わかりました。」

来客男性「原発の再稼働は、地元にとっては大変な問題だ。協力し合うべ！」

会員「ありがとうございます。」

放射線測定ボランティア・正治さんが、測ってみると？



2017 6/6 (火) 水戸市小泉の「鹿島・香取神社」参道の西側の杉並木で、一番太い杉から1.5m離れた1m高さで測定。なお、約5cm高さでは、0.9 $\mu\text{Sv/h}$ あった。また、付近の道路脇の木々の下(写真矢印)は道路面1m高さの値の7倍近かった。ここも北風が吹き抜ける入り口で、こうした箇所の木々の下は放射線の高い所が多く見つかりますね。

(写真奥600m先に那珂川に掛る「R245 湊大橋」があります。)

- 1) 単位は $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)。
*「2011年の原発事故」前は0.05~0.02 $\mu\text{Sv/h}$ 。
- 2) 測定器はHORIZA PA1000 Radi; 測定者は正治。

セシウムからの放射線は測定を開始した2012年4月から3年後に約半分に減りました。今後は減り方がゆるやかになるので半減するのに約30年かかると推定されます。樹木の根元に濃縮されがちなので要注意です。